

ゴール 俳句の言葉の響きやリズムに親しみ、音読をしよう。

一次の俳句を声に出して読んで、五・七・五のリズムを楽しみ、どんな様子がえがかれているか想像しましょう。

〔季節・春〕菜の花や 月は東に 日は西に

与謝蕪村 ()

〔季節・春〕すずめの子 そこのけそこのけ お馬が通る

小林一茶 ()

〔季節・夏〕閑かさや 岩にしみ入る 蟬の声

松尾芭蕉 ()

〔季節・夏〕五月雨を 集めてはやし 最上川

松尾芭蕉 ()

〔季節・秋〕名月を 取つてくれると なく子かな

小林一茶 ()

〔季節・秋〕柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺

正岡子規 ()

〔季節・冬〕うつくしや 年暮れきりし 夜の空

小林一茶 ()

〔季節・冬〕うまさうな 雪がふうはり ふわりかな

小林一茶 ()

二 右の俳句から一番好きな俳句を選んで () に○をつけ、その俳句からイメージする絵をかきましょう。



俳句は、江戸時代 (今から400年ほど前)には俳諧とよばれていました。五音・七音・五音の合計十七音の短い形式の中に、季節感を表す「季語」をよみこんでいます。

ふりかえり

・俳句をリズムよく読むことができました。

()

・俳句にどんな様子がえがかれているか想像し、イメージを絵にかくことができました。

()

俳句に親しむ

解答例

ゴール 俳句の言葉の響きやリズムに親しみ、音読をしよう。

一次の俳句を声に出して読んで、五・七・五のリズムを楽しみ、どんな様子がえがかれているか想像しましょう。

〔季節・春〕菜の花や 月は東に 日は西に	与謝蕪村 ()
〔季節・春〕すずめの子 そこのけそこのけ お馬が通る	小林一茶 ()
〔季節・夏〕閑かさや 岩にしみ入る 蟬の声	松尾芭蕉 ()
〔季節・夏〕五月雨を 集めてはやし 最上川	松尾芭蕉 ()
〔季節・秋〕名月を 取つてくれると なく子かな	小林一茶 ()
〔季節・秋〕柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺	正岡子規 ()
〔季節・冬〕うつくしや 年暮れきりし 夜の空	小林一茶 ()
〔季節・冬〕うまさうな 雪がふうはり ふわりかな	小林一茶 ()

俳句は、江戸時代（今から400年ほど前）には俳諧とよばれていました。五音・七音・五音の合計十七音の短い形式の中に、季節感を表す「季語」をよみこんでいます。



二 右の俳句から一番好きな俳句を選んで () に○をつけ、その俳句からイメージする絵をかきましょう。

・俳句を読んで、あなたが想像した様子がわかる絵を自由に書きましょう。

・色えんぴつで、色もきれいにぬりましょう。

ふりかえり

・俳句をリズムよく読むことができた。 ()

・俳句にどんな様子がえがかれているか想像し、イメージを絵にかくことができた。 ()